

手続補正書

昭和57年 11月 4日

特許庁長官殿

- 1 事件の表示 昭和56年実用新案登録願  
第000823号
- 2 実案の名称 模倣入りおにぎり具
- 3 補正をなさる者  
事件との関係 実用新案登録出願人

住所

氏名

- 4 補正の対象 「明細書」 「図面」 全文
- 5 補正の内容 「別紙のとおり」



385

112736 乙

# 明細書

1. 考案の名称 模様入りおにぎり具

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 型当て板(1)に絵、模様、字等をくりぬいたくりぬき部(2)を設けてなる模様入りおにぎり具。

(2) 型当て板(1, 1')を2枚以上用い、絵、模様、字等を一の物に関連させてくりぬいたくりぬき部(2, 2')を設けてなる実用新案登録請求の範囲の1項記載の模様入りおにぎり具。

(3) 1. 型当て板(1)の絵、模様、字等のくりぬき部(2)の外側に合せてごはん入れ部(3)を木製、プラスチック等の板で設ける。

ロ. ごはん入れ部(3)の内法りよりやや小さい型を木製、プラスチック等の板で押具(4)を設ける。

ハ. 型当て板(1)と組合せてなる実用新案登録請求の範囲の1項記載の模様入り。

おにぎり具。

### 3 考案の詳細な説明

この考案は模様入りおにぎり具に關するものである。従来おにぎりに飾りをつけるにはごま、ふりかけ、のり等で飾っていたがこれはただ上にのせたりしていただけで模様としては欠けていた。この考案はその欠点をもとくためになされたものでこれを図面についで説明すれば厚さ1mm前後のプラスチック板、木製板、金属板等で出来た型当て板(1)を設ける。この型当て板(1)には花や動物等絵や模様、字等を形取ってくりぬいたくりぬき部(2)を設けたものである。又この型当て板(1)を2枚以上使って一つの花や動物等絵や模様等を関連してくりぬいたくりぬき部(2, 2')を設ければ花や動物等の絵や模様、字が一層美しく出来る。これは例えば一枚の型当て板(1)には花をくりぬき(2)、もう一枚の型当て板(1')には葉や茎等をくりぬいた(2')ものである。又これとは別に木製、プラスチック等で3cm位の板にこれも型当て板(1)の絵や模様の外側

-2-

396

才.3

に合せてくりぬいて出来たおにぎり型押具(3)。  
 4) で外側穴部(a)のごはん(5)を入れるご  
 はん入れ部(3)とそのごはん(5)を押えてお  
 にぎり(5')を作る内側の押具(4)を設けたも  
 のである。従ってごはん入れ部(3)の外側穴部  
 (a)の内法りは押具(4)の外法り(b)より  
 やや大き目にしておく。以上の様な構造であるか  
 らこの作り方を3つの例で説明すれば

例Ⅰ おにぎり(5')の上に型当て板(1)を  
 当て上からふり入れ、ごま、梅でんぶ、青の  
 り等粒状の具(6)をくりぬき部(2)にう  
 め込んで型当て板(1)をとりのぞけばおに  
 ぎり(5')に花や動物等の絵や模様や字がえ  
 びき出されて美しいおにぎりとなり得る。

例Ⅱ (イ) おにぎり(5')の上に型当て板(1)  
 を当て上から赤色のふり入れやでんぶ等てく  
 りぬき部(2)をうめ込んで型当て板(1)  
 をとりのぞけば赤い模様が入ったおにぎり(5')  
 が出来る。

(ロ) 赤の模様が入ったおにぎり(5')に別

の型当て板(1')を当てて上から緑色のふりか  
りや青のり等下くりぬき部(2)をうめ込ん  
で型当て板(1')をとりぬけば赤と緑の模  
様のはいったおにぎりが出来ものである。

この型当て板(1)を何枚もそろえ、それに  
そって一つの模様に関連してくりぬき部(2  
)を設ければ何色もの美しいおにぎりが出来  
るものである。

例Ⅱ おにぎり型押具(3, 4)のごはん入れ部  
(3)にごはん(5)を入れ、上から押具(4  
で押し、おにぎり(5')を作る。その後  
は例Ⅰと例Ⅱと同じ順序であるがこれだとお  
にぎりの形と模様が良くマッチしたおにぎり  
が出来一層美しいおにぎり出来るものであ  
る。

なお型当て板(1)は透明板の方がおにぎりの位  
置がよくわかり模様が入れやすい。又おにぎり置  
き印(7)を設ければ一層模様が入れやすい。又  
おにぎり置き下台(8)を設け、これにも同様の  
おにぎり置き印(7')を設けておけば模様が入れ

る仕事が一層スムーズに出来るものである。  
以上の様な構造であるため美しい模様入りおにぎり  
りが簡単に又、安価に出来るものである。又これは  
はおにぎりの他に押すしやおはぎ、弁当等に利用  
出来るものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

オ1図、オ2図は型当て板の正面図。

オ3図、オ4図はおにぎり押具の正面図。

オ5図は模様を入れて置く側面透視図。

オ6図は模様入りおにぎりの正面図。

オ7図は模様入りおにぎりの側面図。

オ8図は下台の斜視図

1：型当て板      2：くりぬき部

3：おはぎ入れ部      4：押具      5：おはん

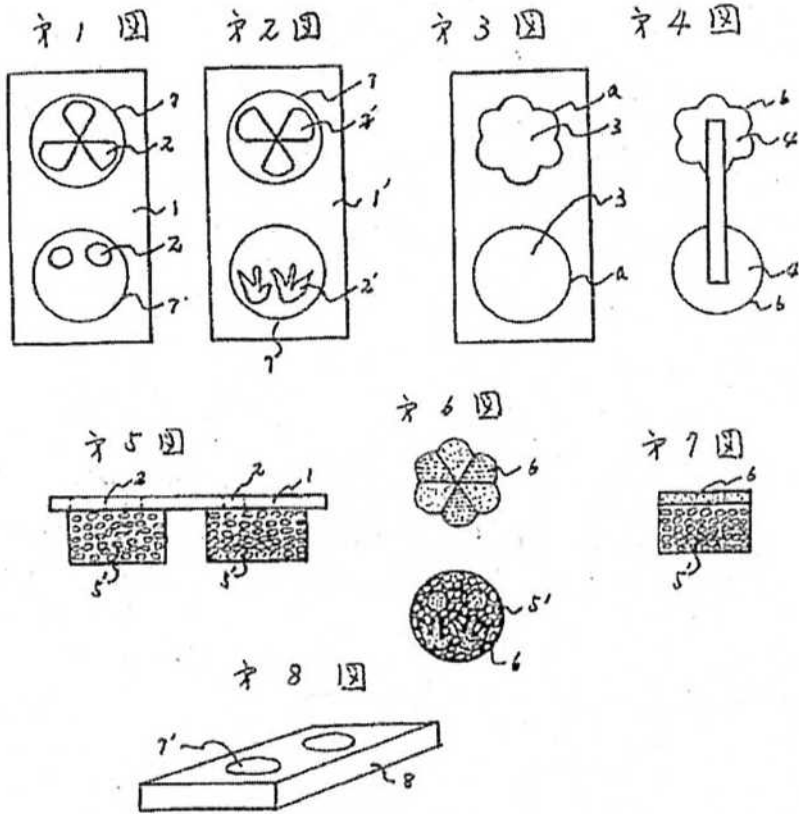
6：具      7：おにぎり置き印      8：下台

実用新案登録出願人

-5-

395

圖 面



(+) 57. 1. 4 .

112736  $\frac{2}{3}$

實用新案登錄出願人



39 ;

7